

2022 年度 授業計画(シラバス)

学 科	看護学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義演習
科 目 名	看護過程論		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	1年		学期及び曜時間	後期	教室名	1年生教室
担 当 教 員	横山 加奈子・中村 裕子	実務経験と その関連資格	医療施設にて看護師として勤務していた。			
<p>《授業科目における学習内容》</p> <p>専門職を目指す看護師にとって看護過程は、看護の知識体系と経験に基づいて人々の健康上の問題を明確にし、計画的に看護を実施・評価する系統的・組織的な活動である。看護過程において根拠に基づく論理的な思考は対象者にとって大変有効である。本科目は看護師の思考過程であるアセスメント、看護上の問題の明確化、看護計画、実施、評価の各段階について、その基本的な考えを学ぶ。学習は講義と紙上事例を用いた個人ワークとグループワークで進める。</p>						
<p>《成績評価の方法と基準》</p> <p>課題の提出(50%) 筆記試験(40%) 授業での姿勢(10%)</p>						
<p>《使用教材(教科書)及び参考図書》</p> <p>新体系看護学全書 基礎看護学②基礎看護技術 I (メヂカルフレンド社) ヘンダーソンとコードンの考えに基づく実践看護アセスメント 第3版(ヌーベルヒロカワ)</p>						
<p>《授業外における学習方法》</p> <p>授業を理解するために、積極的に図書を活用しましょう</p>						
<p>《履修に当たっての留意点》</p> <p>課題に取り組み、他者の考えを聞く、自分の考えを説明することは思考を高めるとともに学習内容をより理解することに繋がります。看護過程の学習は実習に繋がる内容です。分からないことは積極的に質問しましょう。評価対象の課題は提出期限を守ってください。</p>						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	看護過程のプロセスとクリティカルシンキングが理解できる	テキスト、配布資料、プロジェクト	事前学習:シラバスを読む 事後学習:ゴードンの機能的健康パターン of の枠組みを確認する	
	各コマにおける授業予定	1.看護過程とクリティカルシンキング、看護過程における5つの構成要素を学ぶ 2.ゴードンの機能的健康パターンの枠組みと構成要素を学ぶ				
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	患者情報と疾患が理解できる	テキスト、配布資料、プロジェクト	事前学習:紙上事例の疾患を学習する 事後学習:紙上事例の病態と看護を確認する	
	各コマにおける授業予定	1.紙上事例の治療の経過と看護を学ぶ				
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	アセスメントの方法が理解できる	テキスト、配布資料、プロジェクト	事前学習:テキストを読む 事後学習:授業の振り返り	
	各コマにおける授業予定	1.情報の種類と情報収集の方法を学ぶ 2.情報の整理と分析の方法を学ぶ				
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	アセスメントができる	テキスト、配布資料、プロジェクト	事前学習:基本的欲求階層を再学習 事後学習:課題の提出	
	各コマにおける授業予定	1.優先する情報と内容を考える 2.「活動-運動パターン」のアセスメントに取り組む				
第5回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	アセスメントができる	テキスト、配布資料、プロジェクト	事前学習:課題の提出 事後学習:課題の提出	
	各コマにおける授業予定	1.「健康知覚-健康管理パターン」のアセスメントに取り組む				

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	アセスメントができる		テキスト、配布資料、プロジェクトター	事前学習：課題の提出 事後学習：課題の提出
	各コマにおける授業予定	1.「排泄パターン」のアセスメントに取り組む			
第7回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	アセスメントができる		テキスト、配布資料、プロジェクトター	事前学習：課題の提出 事後学習：課題の提出
	各コマにおける授業予定	1.「栄養-代謝パターン」のアセスメントに取り組む			
第8回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	全体像の作成ができる		テキスト、配布資料、プロジェクトター	事前学習：紙上事例の病態と治療・看護を確認 事後学習：全体像の提出
	各コマにおける授業予定	1.紙上事例の身体的、心理的、社会的状況のつながりを全体像で図示する方法を学ぶ			
第9回	講義形式 授業を通じての到達目標	看護上の問題が理解できる		テキスト、配布資料、プロジェクトター	事前学習：テキストを読む 事後学習：授業内容を振り返る
	各コマにおける授業予定	1.看護問題の明確化(看護診断)の種類と表記方法を学ぶ 2.看護問題の優先順位の考え方を学ぶ			
第10回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	診断仮説をもとに看護診断を検証できる		テキスト、配布資料、プロジェクトター	事前学習：テキストを読む 事後学習：グループで検証した用紙の提出
	各コマにおける授業予定	1.看護診断の定義、診断の根拠となるデータ、関連因子を知る 2.診断仮説の検証にグループで取り組む			
第11回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	看護計画が立案できる		テキスト、配布資料、プロジェクトター	事前学習：テキストを読む 事後学習：看護計画の資料を読んでくる
	各コマにおける授業予定	1.看護診断の期待される成果、看護計画の要素を学ぶ 2.看護診断の期待される成果、看護計画の立案に取り組む			
第12回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	看護計画が立案できる		テキスト、配布資料、プロジェクトター	事前学習：看護計画の要素を復習 事後学習：看護計画を提出
	各コマにおける授業予定	1.看護診断の期待される成果、看護計画の立案に取り組む			
第13回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	看護計画が立案できる		テキスト、配布資料、プロジェクトター	事前学習：立案した看護計画の発表の準備 事後学習：看護計画の修正・追加
	各コマにおける授業予定	1.立案した看護計画を発表し、期待される成果、看護計画を確認する			
第14回	講義形式 授業を通じての到達目標	看護の実施と看護記録の方法が理解できる		テキスト、配布資料、プロジェクトター	事前学習：テキストを読む 事後学習：看護過程の利点をまとめる
	各コマにおける授業予定	1.看護の実施計画と経過記録の方法を学ぶ 2.看護の評価の必要性和方法を学ぶ 3.看護過程を用いる利点を考える			
第15回	講義形式 授業を通じての到達目標	看護記録の必要性和法的責任が理解できる		テキスト、配布資料、プロジェクトター	事前学習：テキストを読む 事後学習：授業内容を振り返り、学習をまとめる
	各コマにおける授業予定	1.看護記録の法的責任と記録の管理を学ぶ 2.看護記録の重要性和種類を学ぶ			